



環境経営レポート

2023年度



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

対象期間：2023年7月1日～2024年6月30日



光洋建設株式会社



発行日：2024年7月10日

目次

1.	企業理念・環境経営方針	P1
2.	組織の概要	P2
3.	組織・実施体制	P3
4.	主な環境負荷の実績・環境経営目標・実績	P4
5.	環境経営計画の取組内容とその評価・次年度の取組内容	P5
6.	環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無・代表者による全体の評価と見直し・支持	P6
7.	生産性の向上の取組み	P7-9

□ 企業理念

- 一、弊社は、従業員の物心両面の幸福を実現するために社長を含め、一同必死に努力し続けることを誓います。
- 二、弊社は、売上と収益をさらに上げ、不況にびくともしない会社をみなさんと共に創りあげることを誓います。
- 三、弊社は、人類、社会の進歩発展に貢献することを誓います。
- 四、弊社は、目標を掲げ、『なぜその目標を目指すのか』『どうすれば目標を達成できるのか』について、議論し一度立てた目標は何としても達成できるよう努力することを誓います。

環境経営方針

□ 基本理念

光洋建設株式会社は、地球環境保全の取組みが重要であることを認識し、人と地球にやさしい社会・地域づくりに貢献し、地球温暖化問題への取組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取組みます。

□ 環境経営方針

1. エネルギー使用量の効率的利用によりCO2の削減に努める。
2. ICT建機の使用で施工時間の短縮による生産性の向上を図る。
3. 廃棄物の排出量の削減およびリサイクルの推進に努める。
4. 水使用量の削減に努める。
5. 建築物・工作物等への環境配慮に努める。
6. 環境関連法規等や当社が約束したことを遵守する。
7. 社会貢献活動(ボランティア)に積極的に参加する。
8. 環境経営方針は、全従業員に周知する。
9. 環境経営目標・活動計画を定め、継続的改善に努める。

制定日：2010年6月24日

改定日：2024年7月10日

光洋建設株式会社

代表取締役 長尾 洋司

【組織の概要】

(1) 事業者名及び代表者氏名

光洋建設株式会社
代表取締役 長尾 洋司

(2) 所在地

本 社	〒656-0143	兵庫県南あわじ市中条中筋939
淡路営業所	〒656-1552	兵庫県淡路市入野919

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者・ 連絡責任者
TEL：0799-45-0382 FAX：0799-45-1444 E-mail：koyo0382@ceres.ocn.ne.jp

(4) 設立、資本金

設立：1996年11月
資本金：3,000万円

(5) 事業内容

総合建設業（土木工事業、建築工事業）
建設業許可番号 一般 兵庫県知事 許可第801619号 （造園・電気）
特定 兵庫県知事 許可第801619号

（６）事業の規模（2023年度）

(売上額) 125,413万円
(工事数) 39件
(従業員数) 本社：28名 淡路営業所：2名（兼務）
(敷地面積) 本社：158.5m² 10m²
倉庫：616m²

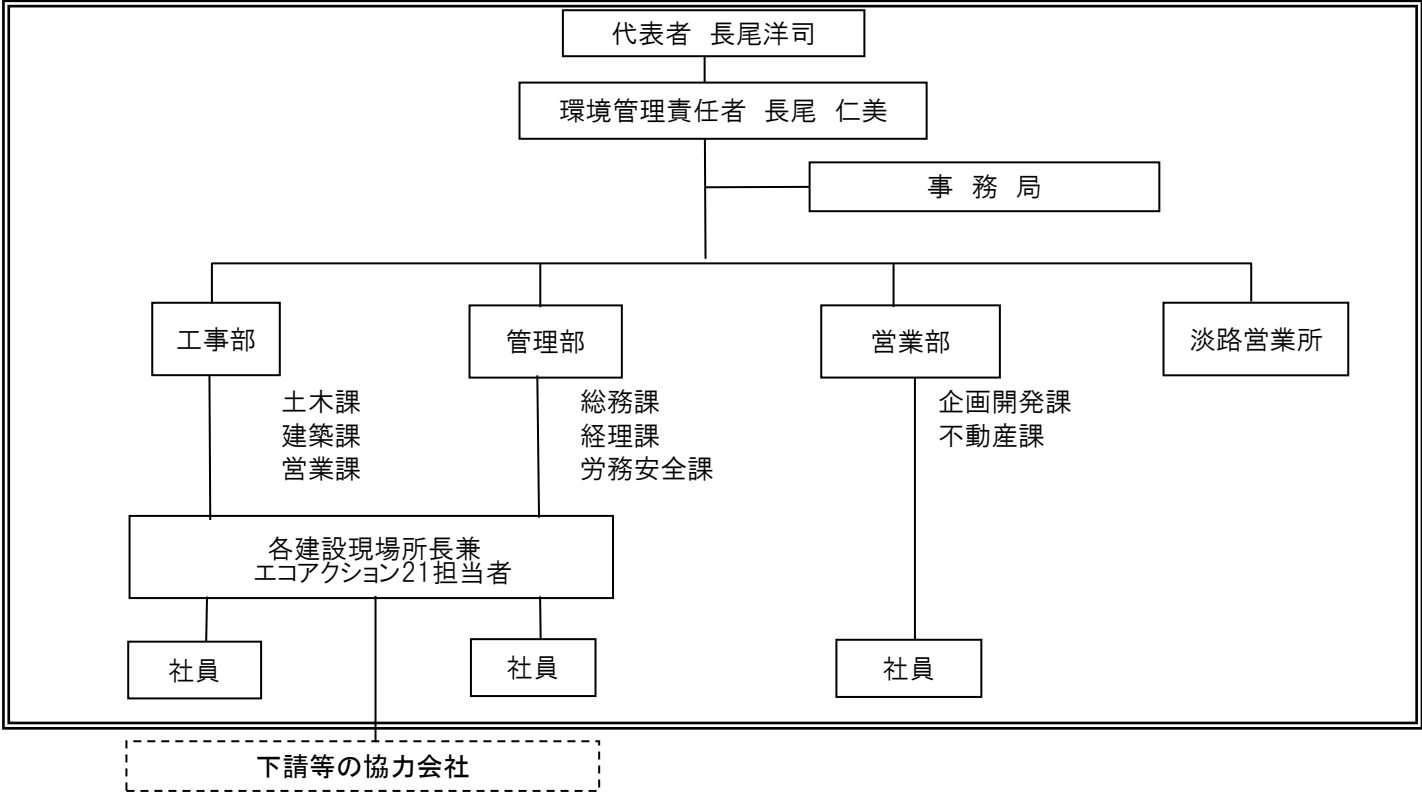
(7) 事業年度 7月～翌年6月

【 認 証 ・ 登 録 の 対 象 範 囲 】

全組織、全活動とする

【組織・実施体制】

制定日:2010年6月24日
更新日:2024年7月1日



	役割・責任・権限
最高責任者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・全従業員に対する教育・訓練の実施 ・環境経営目標、環境経営計画を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・部門の特定された緊急事態への対応マニュアルの承認 ・環境経営レポートを承認 ・環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画書を確認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示に必要な情報(環境経営目標の達成状況等)を報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・自主的・積極的に環境活動へ参加。

【主な環境負荷の実績】

項目	単位	2022年度	2023年度
C02排出量	kg-CO2	289,101	351,331
電力使用量	kW h	19,854	32,216
ガソリン使用量C O2排出量	L	17,309	22,337
軽油使用量	L	88,595	110,429
L P G使用量	k g	22	24
産業廃棄物排出量	t	7,545	734
水使用量	m ³	280	303

※ 2022度電気事業者別二酸化炭素調整後排出係数（最新）：シン・エナジー株式会社 0.479kg-CO2/kWh
関西電力株式会社 0.309kg-CO2/kWh

【環境経営目標・実績】

□ 本社 *達成率：（目標/実績）：100%超で達成

環境経営目標	単位	基準年度 2019年度～ 2021年度の平 均値	2022年度 基準比1%削減			2023年度 基準比2%削減			2024年度 基準比3%削減		
		(基準値)	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率
C02排出量	kg-CO2	312,014	308,894	289,101	107%	305,774	351,331	87%	302,654	－	－
電力使用量	kWh	18,562	18,376	18,717	98%	18,191	22,588	81%	18,005	－	－
ガソリン使用量	L	23,850	23,612	17,309	136%	23,373	22,337	105%	23,135	－	－
一般廃棄物	kg	167	165	168	98%	164	187	88%	162	－	－
水使用量の削減	m ³	330	327	280	117%	323	303	107%	320	－	－

□ 現場

軽油使用量	L	95,774	94,816	88,595	107%	93,859	110,429	85%	92,901	－	－
産業廃棄物	t	1,708	1,691	7,545	22%	1,674	734	228%	1,657	－	－
社会貢献	事務所周辺の清掃活動（1回/月）を行う										
建築物・工作物等への 環境配慮	ICT建機による環境に配慮した工事を行う 目標件数 6件 実績件数 4件 （公共工事）										

* 化学物質は使用なし、目標設定なし。
* 目標未達成の電力使用量・一般廃棄物に関しては、従業員の増員とA0機器等の増加、バッテリーの充電によるため。軽油の使用量に関しては、受注工種により土工事が多く建設機械・車両の稼働が多かったため目標達成できなかった。

□ 環境経営計画の取組内容とその評価、次年度の取組内容

＊取組内容の達成状況：○できた（100％）△（50％～100％未満）×全くできなかった（0％）

取組内容	達成状況				継続／変更	評価と次年度の取り組み内容
	7月 5 9月	10月 5 12月	1月 5 3月	4月 5 6月		
電力使用量の削減	81%					（目標達成） 全従業員が協力して、①、②、③、④を実施しているが、従業員数・A0機器の数が増えた （次年度） ①、②、③、④を継続実施する。 7エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12つくる責任 つかう責任 13気候変動に 具体的な対策を
①不要時の消灯の徹底	○	○	○	○	継続	
②ブラインド・すだれを活用	○	○	○	○	継続	
③フィルターの清掃（月1回程度）	○	○	○	○	継続	
④退社時、機械及び機器の電源OFFを確認	○	○	○	○	継続	
軽油使用量の削減	85%					（目標達成） ①、②、③を実施とICT建設機械の使用は継続しているが、土木工事の、土木工事が多く建設機械・車両の稼働が多くなった。 （次年度） ①、②、③を継続実施する。 7エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12つくる責任 つかう責任 13気候変動に 具体的な対策を
①エコ運転の徹底	○	○	○	○	継続	
②アイドリングストップの徹底	○	○	○	○	継続	
③カーエアコンの設定温度を抑える	○	○	○	○	継続	
ガソリン使用量の削減	105%					（目標未達成） ①、②、③を実施を継続し、また乗り合わせて現場に行く等継続して実施できた （次年度） ①、②、③を継続実施する。 7エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12つくる責任 つかう責任 13気候変動に 具体的な対策を
①エコ運転の徹底	○	○	○	○	継続	
②アイドリングストップの徹底	○	○	○	○	継続	
③カーエアコンの設定温度を抑える	○	○	○	○	継続	
水使用量の削減	107%					（目標未達成） ①、②、③を継続して実施できた。 （次年度） ①、②、③、④を継続実施する。 6安全な水とトイレ を世界中に 12つくる責任 つかう責任
①水を使用する時は、節水を心がける。	○	○	○	○	継続	
②蛇口締めつけ確認	○	○	○	○	継続	
③水漏れの点検	○	○	○	○	継続	
④空気清浄器+加湿器（除菌水）の使用	○	○	○	○	継続	
産業廃棄物の削減	228%					（目標達成） ①、②を継続実施し、目標達成できた。前年度大規模な解体工事を受注したことにより数字が上がり、目標達成できなかったが、今期は通常に戻った。 （次年度） ①、②を継続実施するが工事の内容により増減するので取組が難しい。継続して実施する。 11住み続けられる まちづくりを 12つくる責任 つかう責任
①分別の徹底	○	○	○	○	継続	
②再資源化	○	○	○	○	継続	
社会貢献	100%					（目標達成） 月1回、全員で実施した。次年度も継続実施する。 11住み続けられる まちづくりを
①事務所周辺の清掃活動（1回/月）	○	○	○	○	継続	
建築物・工作物等への環境配慮						（目標達成） 全工事とはいきませんが、環境に配慮した工事を行うことができている。建築工事でもできないか検討する （次年度） ①ICT建機による環境配慮した工事を行う 7エネルギーをみんなに そしてクリーンに 11住み続けられる まちづくりを 13気候変動に 具体的な対策を
①ICT建機による環境配慮した工事を行う						

□ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（届出の実施、測定の実施、基準値の遵守等）	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（建設廃棄物処理委託契約書、産業廃棄物委託契約書、マニフェスト交付、保管、交付状況報告書等）	遵守
建築基準法	建築基準法に義務化されている建築確認告示板の掲示	遵守
建設リサイクル法	分別解体実施・再資源化の実施義務の遵守、発注者への報告義務、県知事への報告	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出 指定区域内の作業敷地境界にて85デシベル以下の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出 指定区域内の作業敷地境界にて75デシベル以下の遵守	遵守
環境の保全と創造に関する条例	特定建設作業の届出 騒音規制法対象となるもの以外	遵守
フロン排出抑制法	管理者の責務（7.5kW未満業務用エアコン）簡易点検（3か月1回）、記録の保管	遵守
兵庫県災害時における応急対策に関する協定	災害時には出動し、応急対策を行います	遵守

※ 環境関連法規制等の遵守状況の確認の結果、環境関連法規制等は遵守している。
なお、関係当局より違反、訴訟などの指摘は、過去3年間ありません。

■外部から環境に関する苦情、要望などありませんでした。

■毎日朝礼,社内掲示板においてを通じて双方向の内部コミュニケーションを実施している。

遵守確認年月日：2024年7月1日
環境管理責任者：長尾仁美

□ 代表者による全体の評価と見直し・指示

- （1）全体の評価
取組内容は、社員の環境に対する意識は向上し、それぞれの目標に継続して取り組んでいる。今年度は、燃料（ガソリン）水道使用量、産業廃棄物について目標を達成している。
しかし、電力、軽油の削減については、目標の85%程度と達成できていない状況である。原因は今年度OA機器の増加、事務所増築、重機土工事の受注が例年より多かったためと考えます。原因が明白である事から問題がないと考えます。
- （2）見直し・指示
達成・未達成にかかわらず次年度も環境経営効率指標を改善指標とする。自動車・建設機械の燃料使用量は、ICT建機の使用により人手不足の改善や生産性の向上（コストの削減）につながるので、次年度も常に活用する事の意識づけをお願いする。
社会貢献活動（現場事務所周辺の清掃活動）は、今後も継続実施すること。
本年度購入した高性能焼却炉の活用については、ゴミの減量につながるため次年度も引き続き継続していく事。

項目	見直しの必要性	必要に応じて変更指示
環境経営方針	否	特になし
環境経営目標	否	特になし
環境経営計画	否	特になし
実施体制	否	特になし
その他の要素	否	特になし

2024年7月10日
代表取締役 長尾 洋司

ICT建機の使用で施工時間の短縮による生産性の向上の取り組み

バックホウ

環境にやさしい クリーンエンジン搭載

コマツ独自の建設機械用エンジン最新技術「ecot3」（エコットスリー）により、NOx排出量を27%低減（当社従来機比）。特定特殊自動車排出ガス規制をクリアしたクリーンエンジンを搭載しています。



作業時の周囲環境に配慮 国土交通省 超低騒音型建設機械

吸気レゾネータや低騒音マフラー、吸音ブレードの採用をはじめ、エンジン本体や各部室へのきめ細かな防音対策を実施。周辺環境にやさしい超低騒音を実現しています。



CO₂の削減を推進して 低燃費作業をアシスト

●大作業量と低燃費を両立する2つの作業モード
定評の2つの作業モードがさらに進化しました。パワフルで大作業量の「Pモード」、燃料消費を抑えつつ、軽負荷作業ではPモード並の作業機スピードを実現した「Eモード」。作業に応じて「大作業量」と「低燃費」がモニターパネルでワンタッチで選択できます。



●KOMTRAX情報に基づく省エネ運転支援レポート
実働時間や油圧リリーフ時間などの使われ方情報をとくに、省エネ運転に関するアドバイスをすることが可能です。
※詳細は販売店にお問い合わせください。

●省エネ運転をアシストするエコゲージを装備
環境に優しい省エネ運転のために、マルチモニターの右側にひと目でわかる「エコゲージ」を装備。CO₂排出量が少なく燃料消費効率の良い、グリーンの一環としての作業を心掛けてください。



●アイドリングコショウ ムダな燃料消費を抑えるために、アイ ドリング状態が5分 以上続くとモニター画 面に表示してお知 らせします。



●環境にやさしいオートデセル
作業機レバーを中立にすると数秒後にエンジン回転数が自動的にダウン。燃費の向上とともに騒音も低減します。

走行ステアリング性能が向上

新ダブルフロー式油圧システムの採用により、登坂や不整地での操向時のスピードダウンが少なくスムーズな走行が行えます。



ブルドーザ

CRAWLER DOZER D37/39-23

進化した「電子制御HST」で 燃料消費量をさらに低減

「電子制御HST」によるエンジンとHSTポンプの恒回転数マッチング制御をはじめ、メインバルブ・油圧回路のロス低減や低燃費エンジンの採用などにより、機械ポテンシャルを最大限に引き出しながら燃料消費量を大きく低減しました。

燃料消費量（Pモード時）
10% 低減
※上記はD37/39-23比、前モデル時値です。
実際の作業では、作業内容により上記以下になる場合があります。

作業量優先と燃費優先を両立する2つの作業モード

パワフルで大きな作業量の「Pモード」と燃料消費量の少ない「Eモード」を、作業に応じてマルチモニターのスイッチ操作で簡単に選択できます。

●Pモード

フルパワーを発揮して力強く作業を行います。作業量が必要な場合や重負荷作業、登りこう配での作業に威力を発揮します。
Pモードが有効な作業
一般土質の掘削・運上、押し上げ（上り道）、重掘削など

●Eモード

ムダなパワーと燃料消費量を抑えて効率よく作業を行います。シュースリップを起こしやすい地盤での作業や押し上げ作業、整地作業、軽負荷作業、下りこう配での作業など、あまりパワーを必要としない作業に最適です。Pモードより燃料消費量をさらに10%低減できます。
Eモードが有効な作業
砂・軟弱土の掘削・運上、押し下げ（下り道）や整地、敷き均し、不整地での掘削・運上など

パワースの少ない 油圧駆動ファン

油圧駆動ファンの採用により、エンジンと冷却ファンを分離。ファンベルトを介して常時回転している冷却ファンと異なり、冷却水温度に合わせてファン回転数を制御しているため、ファン駆動のためのエンジン出力のロスを低減します。

環境負荷物質を低減して エコロジーを推進

ボルトの3箇クロメート処理化により、6箇クロムを全廃しました。また、非揮発ホースの採用でリサイクル率を向上しています。



抜粋『ICT土工の取組みと効果について』

■法面整形における施工精度と施工時間の比較

a) 検証条件

- ・作業内容 法面整形(切土)
- ・施工数量 約20m²(延長 5 m×法長 4 m程度)
- ・使用機械 マシンガイダンスバックホウ
- ・出来形計測機器 トータルステーション(ノンプリ)

b) 法面整形における施工精度の比較

- ・従来の建設機械の標準偏差は約0.020
- ・ICT建設機械の標準偏差は約0.017

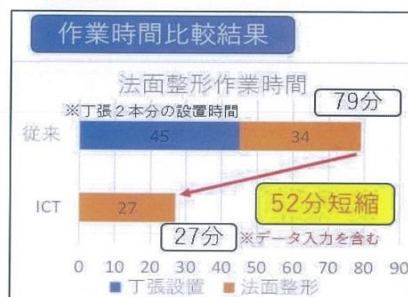
⇒施工精度はICT建機の方が良い

c) 法面整形における施工時間の比較 (図1)

- ・従来の建設機械では79分
- ・ICT建設機械では27分

⇒52分短縮(65%短縮)

(図1)



当社は一般財団法人日本カンボジア交流センターを通じて海外支援に尽力いたしております。





HYOGO SDGs
ひょうご産業 SDGs 認証事業
ゴールドステージ
認証書

企業名 **光洋建設株式会社**

認証期間 2024年8月16日 ~ 2028年3月31日

貴社を「ひょうご産業 SDGs 認証企業」として認証します。
2024年8月16日

兵庫県知事 **齋藤元彦**

No. 00904

ひょうご産業SDGs認証事業

第3回募集において過去最高の87社を認証
～県内6企業を“ゴールドステージ”企業に決定～（令和6年8月）

(株)神防社 (神戸市、建設設備業) 関機による登山保安や女性活躍等を推進	サカモトメタル(株) (多可町、鉄合金鋼/サイクル業) 種幹機導入による持付率により生産性を向上
まねき食品(株) (姫路市、食品/品卸/飲食店業) 持続可能な資源を活用したSDGs推進を推進	近畿農産資材(株) (佐用町、土壌基盤材料製造業) 牛糞の堆肥化により環境型社会構築に貢献
(有)新築青果 (淡本市、青果/物産加工/加工業) 持続性の高い有機農業を推進しCO ₂ 削減を推進	光洋建設(株) (用あわじ市、総合建設業) ICT設備を活用し業務効率化とCO ₂ 削減を推進

累計で235社の認証となり、都道府県レベルで全国トップの認証企業数となっています。これにより宣言企業数・認証企業数ともWで全国トップとなりました。

第3回認証企業一覧 (87社) (PDF: 1,955KB)

ゴールドステージ企業へ記念品を贈呈しました。



第3回ひょうご産業SDGs認証事業

SDGs認証企業（うちゴールドステージ6社）を決定！

（アドバンストステージ18社、スタンダードステージ63社）



”過去最高”87社を認証した結果、SDGs認証企業数は累計で235社に達し、都道府県レベルでは全国トップを維持

これにより、**宣言・認証ともWで全国トップを達成！**

認証企業数全国順位

(R6.8時点)



兵庫県 235社



鳥取県 47社



沖縄県 11社

※認証制度は全国で3県が実施

【ゴールドステージの6社】

・★の3社は、更なる取組の深化を図ることにより、前回のアドバンストステージから今回ゴールドステージ認証へステップアップ

(株)神防社★

(神戸市、消防設備業)

間伐による里山保全や女性活躍等を推進



- ・災害用携帯トイレ『モスマイ』や、間伐材を利用した循環型の多目的スペース『KOBObut』を開発
- ・女性メンテナンスチーム『KOBOGIRLプロジェクト』により、女性の職域拡大や働きやすい職場環境を実現

近畿農産資材(株)★

(佐用町、土壌基盤材製造業)

牛糞の堆肥化により循環型社会構築に貢献



- ・本来は環境破壊の一因となる牛糞を有機堆肥として有効化し、資源の循環に貢献
- ・日本酒製造の過程で発生する使用済み活性炭を再利用し、温室効果ガスを抑制する高機能堆肥を開発

サカモトメタル(株)★

(多可町、非鉄金属リサイクル業)

破砕機導入によるリサイクルにより生産性を向上



- ・金属の破砕機を導入してリサイクル率を工夫し、生産性向上や電気使用量削減を実現
- ・ほぼ残業ゼロを実現していることに加え、SDGs研修をはじめとした充実した社内教育や、毎月周辺地域の清掃活動を実施

まねき食品(株)

(姫路市、食料品製造販売業)

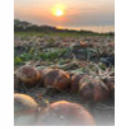
持続可能な資源を活用したSDGs弁当を開発



- ・脱プラスチック容器を使用したお弁当の拡大、冷凍弁当による食品ロス削減の取組を推進
- ・持続可能な資源の活用配慮した「希望をつなぐSDGs弁当」や、アレルギー対応食・ヴィーガンなど、社会配慮型の商品を開発

(有)新家青果

(洲本市、青果物生産加工業)

持続性の高い有機農業を実現しCO₂削減を推進

- ・有機農業+GLOBAL.GAP認証で持続性の高い玉葱の生産を実現
- ・玉葱2,500トンの貯蔵冷蔵庫に太陽光発電等を設置しCO₂排出ゼロを実現するとともに、加工工場移転によりお客様のスーパー3を流通過程で最大58%削減

光洋建設(株)

(南あわじ市、総合建設業)

ICT建機を活用し業務効率化とCO₂削減を推進

- ・ICT建機を積極的に活用し、大幅な作業効率の向上や、計画的なCO₂排出量の削減を実現
- ・若い人材や女性の活躍、外国人雇用にも力を入れ、多様な人材が働きやすい職場を構築

ひょうご産業SDGs認証事業 第3回認証企業(87社)一覧

ゴールド
★★★★

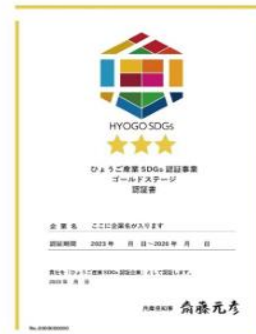
6社

アドバンスト
★★★★

18社

スタンダード
★

63社



<ゴールドステージ認証書>

※認証区分に応じた認証書を全企業に交付します



<ゴールドステージ記念盾>

認証日 : 令和6年8月16日
認証期間 : 認証日から令和10年3月31日